

新歓 オンラインで

県立大生 先輩とつながり作り



県立大の新生に同級生や先輩とのつながりを作ってもらおうと、同大の学生有志が25日、「オンライン新歓」を開いた。講義がオンライン形式となる中、新生はネットを通して部活動や授業の話聞き仲を深めた。

新生は入学以来、キャンパスで新しい友人や先輩と接する機会がなく、「特に1人暮らしは孤独。とにかく誰かと話したい」とい

「声を聞く」と田川裕大さん(2年)ら5人が企画した。

県立大の新生が友人や先輩との仲を深めた「オンライン新歓」の画面

新生45人と、12の部活からの在学生の計約70人が参加。新生は部活の説明を順に聞き、先輩後輩が交ざった7〜8人ずつが二度のグループワークをした。

ゲームをしたり、部活や授業、アルバイトの話をしたりして、「この授業は面白い」「部活が再開したら見に来て」などと盛り上がった。

最後に部活ごとのグループに分かれ、1人当たり二つの部活の話聞いた。終

了後、引き続き個別の部活について話を聞く人もいた。

オンライン新歓は29日も行う。田川さんは「今回をきっかけに、つながりを作る同様の取り組みが広がってほしい」と期待していた。

(大西崇弘)